



# 「CHECK」、そして「ACTION」へ No.1

## — 第2回全市校園長会より —

平成20年8月29日（金）、本年度第2回全市校園長会を市民会館で開催しました。

阪之上清以彌教育委員長からは、各学校園においても環境教育、人権教育を一層進め、子どもたちにとって、わが町「堺」が環境モデル都市、自由都市として誇りをもてるよう取り組んでいただきたいとお話がありました。また、芝村巧教育長からは、本市教育への市民の期待に応えるため、子どもたちの学力の向上を喫緊の課題として、「学力向上プラン」の具現化に向け、「CHECK」から「ACTION」へ進めていくよう指示がありました。

今号では、阪之上教育委員長のお話された概要について掲載します。各学校園において、これらの視点を具現化し、より一層学校経営の活性化を図ってください。

### わが町「堺」を誇りに！

#### 教育の新しい動きの中で

「教育振興基本計画」が平成20年7月1日の閣議で決定されました。この計画は、改正教育基本法の理念を具体的に実現するため、10年先を見据えた5年間の計画として策定されたものであり、改めて「教育立国」を宣言し、わが国の未来を切り拓く教育の振興に社会全体で取り組んでいくことをめざすものです。今後5年間の目標として、世界トップの学力水準をめざすことや、規範意識、生命の尊重、他者への思いやりなどを培い、法やルールを遵守し適切に行動できる人間の育成、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣づくりがあげられており、国際的な競争力・存在感を備える教育研究拠点を形成し、「知」の創造・継承・発展に貢献できる人材の育成をねらいとしています。

これらの実現をめざし、基本計画の趣旨について理解を図るとともに、校園長のリーダーシップが発揮されるようお願いいたします。

#### 本市の教育の新しい動きから

平成21年度に実施する教員採用選考から、本市単独で実施することになります。本市での単独採用にあたり、志願者が安心して受験できるよう具体的な選考方法や合否決定までの手続きに関して、なお一層の透明性、公正さを確保する方策を講じる必要があります。教員採用選考が公正で、かつ、すぐれた資質の教員を採用することが、教育への信頼を得る大前提であり、今後とも改善の余地がないかどうか、常に検証しながら実施してまいります。

本市は、「環境モデル都市」として名乗りを上げ、平成20年7月22日に内閣官房から追加選定の候補となる「環境モデル候補都市」に選定された旨の通知がありました。本市は、世界共通の課題である「低炭素社会」の形成を図るため、二酸化炭素を減らす「クールシティ・堺」構想を掲げています。

また、平和と人権尊重の重要性を発信し、多くの方に国際貢献活動に対する理解と認識を深めていただくとともに、世界で行われているさまざまな活動を支援し、都市として国際貢献を図ることを目的に、「自由都市・堺 平和貢献賞」を創設し、第1回の受賞者を7月31日に決定したところです。

各学校園においても環境教育、人権教育を一層進め、子どもたちが、わが町「堺」を環境モデル都市、自由都市として誇りをもてるよう取り組んでいただくことをお願いいたします。

## 道路博士による授業を実施！

— 堺市立深井西小学校 5年生 —

平成20年7月16日(水)、「高速道路を楽しく学ぼう！道路博士の出張授業」が行なわれました。本授業は、阪神高速道路と朝日小学生新聞が協同で取り組む初めての出前授業で、スタッフ19名が来校されました。

1時間目は、高速道路の役割についてクイズ形式で学習し、阪神大震災時の震災復旧の取組について、DVDを見ながら教えていただきました。

2時間目は、模型を使って橋や柱が壊れる様子について学習し、その後、紙で橋作りをしました。高速道路にある橋の形や、地震の際に起こる液状化現象についても実験を通して学習しました。

授業後には、児童から「高速道路には多くの人が関わっているのがわかった」などの感想が聞かれました。



## 最先端の液晶技術や太陽光発電、地球温暖化問題を学習！

— 堺市立美原北小学校 5・6年生 —

平成20年7月17日(木)、「堺・エキスパート教育支援事業」の一環として、シャープ(株)の協力を得て、最先端の液晶技術について学習しました。

タッチパネル付きインフォメーションディスプレイで電子地球儀を使って、自校やエジプトのピラミッド、フランスのエッフェル塔などを上空から間近かに見ることができました。

また、新エネルギーである太陽光発電のしくみや地球温暖化の問題についても教えていただきました。

児童からは、「二酸化炭素を出さずに電気を作る方法があることを知りました。そして、何年後かには、石油がなくなるということも知ったので、これから少しずつ省エネをしようと思いました。」などの感想が聞かれました。



## 学校図書館利用 ますます盛んに・・・

— 夏季休業中における保護者の協力 堺市立浜寺小学校 —

浜寺小学校では、日頃より全校あげて読書活動の充実に努めています。

とくに昨年度からの学校図書館の環境整備により、子どもたちの利用が増えています。また、保護者による読書活動への協力は多大なものであり、PTA図書委員会の「おはなしエプロン」による活動が活性化しています。

今年度は、夏季休業中の毎週月曜日に学校図書館を開館し、大勢の子どもたちが訪れています。「おはなしエプロン」の方々による『大型紙芝居の実演』『人形劇』『パネルシアター』、そして、保護者と教員との協力による『読書感想文書き方講座』等、子どもの読書活動を支援する体制に熱が入っています。

このような取組で、子どもたちが学校図書館に行く回数が増え、今までにも増して「本が大好き」と言う子どもたちが増えました。

